

出願書類に関する留意事項をよく読み、指示に従い書類をまとめること。

【留意事項】

* No. 1、2、8は和文、No 3、4、5、6は英文で準備・作成すること。

◆書類 No. 7について、和文でなくても翻訳は不要。

◆書類 No. 8について、推薦者が日本語で作成できない場合は、他の言語でも可。その場合は、応募者以外の者に内容を和文に訳してもらい、翻訳者の氏名と和文の書類が用意できなかった理由を和文訳用紙に明記のうえ、推薦者作成の推薦状と和文訳用紙を一組にして提出すること。訳文のみは不可。

* 書類は、すべて A 4 判の大きさに折りたたむか、台紙に貼付し、A 4 判で統一すること。

* 開封無効の学業成績証明書等もすべて開封して提出すること。

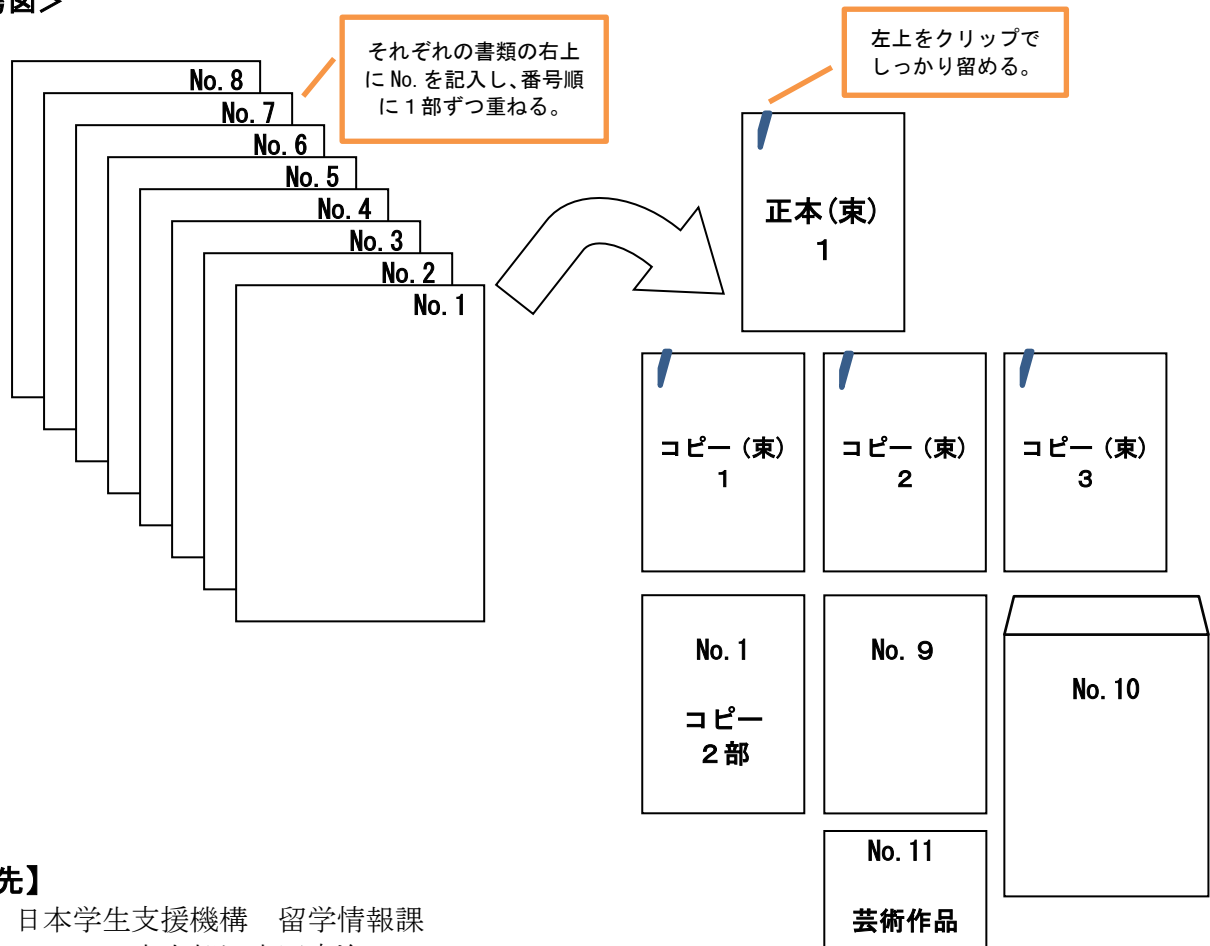
* 出願書類の記入欄に不備がある、または不足書類がある場合は選考対象としない。

* 出願書類はすべてコピーをとり、各自保管しておくこと。

* 提出された書類は一切返却しない。

* No. 1～8はそれぞれの書類の右上に No. を記入した上で、番号順に1部ずつ重ね、左上をクリップでしっかりと留めたものを4セット（正本1セット、コピー3セット）作成すること。No. 1のコピー2部、No. 9、No. 10およびNo. 11は留めずに提出すること。

<参考図>



【提出先】

(独) 日本学生支援機構 留学情報課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1 TEL : 03-5520-6111

※出願封筒の表に「**2018 年度中国政府奨学金出願書類在中**」と朱書きの上、簡易書留または宅配便で送付すること。直接持参は不可。

締切 : 2018 年 2 月 21 日 (水曜日) 午後 4 時必着

和文出願書類に関する留意事項および書類一覧

別添 2

【出願書類一覧】 ※以下をよく読み、不備・不足のないよう準備すること。

No.	書類名	提出部数	
		正本	コピー
	記入の留意点		
1	和文出願書（所定用紙：WEB よりダウンロードすること）（和文を提出すること） ・日本語で記入する（中国の大学名も可能な限り日本の漢字で記入すること）。 ・生年月日以外は書類記入時の情報について記入すること。 ・提出後の記入内容変更は不可。希望大学を含め、C S C 電子申請システムの内容と必ず一致させること。異なる内容を記入した場合は、C S C 電子申請システムの内容を優先する。 ・正本に写真（たて 4 cm × よこ 3 cm、上半身・正面・脱帽、6 か月以内に撮影したもの）を貼付し、コピーは写真貼付後の正本から取ること。	1	5
2	留学中の学習・研究計画書（和文を提出すること） ・志望理由、留学中の学習・研究計画、帰国後の計画について詳しく記入すること。 ・文字数は指定しないが、C S C 電子申請システムでアップロードした中国文（英文）の計画書と同内容となるように作成すること。	1	3
3	卒業学校の学業成績証明書（英文を提出すること） ・現在、高等学校 3 学年に在学中の者は、中学校の学業成績証明書の提出は不要。→「4」へ ・高等学校が最終卒業学校の場合は、高等学校の学業成績証明書を提出すること。 ・専門学校、短大、大学が最終卒業校の場合は、その卒業校の学業成績証明書を提出すること。 ・大学院が最終卒業校の場合は、大学と大学院の学業成績証明書を提出すること。 ・本科生希望者は、最終卒業学校が高等学校でなくても、高等学校の学業成績証明書も必ず提出すること。 ・語学学校等、学位を取得しなかった場合の証明書は不要。	1	3
4	在学中の課程（高等学校、専門学校、短期大学、大学、大学院）の学業成績証明書（英文を提出すること） ・現在、高校、専門学校、短大、大学、大学院に在籍中の者は、在籍中の学校の学業成績証明書を提出すること。 ・博士課程在籍者等で学業成績証明書が発行できない場合は、その理由書（形式自由・理由の確認先および本人署名が必要）を提出すること。	1	3
5	最終卒業学校の卒業・修了証明書（英文を提出すること、卒業証書は不可） ・現在、高等学校 3 学年に在学中の者は、中学校の卒業証明書の提出は不要。→「6」へ ・高等学校が最終卒業学校の場合は、高等学校の卒業証明書を提出すること。 ・専門学校、短大、大学が最終卒業校の場合は、その卒業校の卒業証明書を提出すること。 ・大学院が最終卒業校の場合は、大学院の修了証明書を提出すること。	1	3
6	在学中の課程（高等学校、専門学校、短期大学、大学、大学院）の卒業・修了見込証明書、在学証明書（英文を提出すること） 現在、高校、専門学校、短大、大学、大学院の最終学年に在籍中の者は、在籍中の学校の卒業（修了）見込証明書を提出すること。最終学年以外に在籍中の者は、在学証明書を提出すること。	1	3
7	語学能力証明書のコピー（あれば提出すること） ・HSK 証書を提出すること。 ・希望大学・課程での教授言語が英語の場合、TOEFL や GRE 等の英語能力証明書も提出すること。	—	4
8	推薦状（本科生・普通進修生希望者は不要。サイン又は印のあるもの。形式・書式自由） ・原則、開封して提出すること。推薦者の意向により開封が認められない場合は、コピー 3 部も推薦者に依頼して、すべてを一つの封筒に入れてもらい、提出すること。 ・C S C 電子申請システムでアップロードした中文または英文の推薦状と同一の推薦者であること。 ・語学能力、専攻分野に関する知識、人物等について、在籍している（していた）大学の教授、准教授、講師のうち 2 名から書いてもらうこと。 ・専門学校卒業の場合は、本人をよく知る専門学校の教員 2 名に書いてもらうこと。 ・宛名（例「中国政府奨学金留学生選考委員各位」）は不要。 ・推薦者が日本語で作成できない場合については、1 ページの留意事項を確認すること。	各 1	各 3
9	パスポートのコピー（国籍のわかる部分）または戸籍抄本（謄本不可） 記載内容がはっきりと確認できるようにコピーをとること。	—	1
10	返信用封筒（書類選考結果の通知に使用） 角 2 封筒に 400 円分の切手を貼付し、日本国内（海外は不可）の連絡先の郵便番号、住所、氏名、また朱書きで「速達」と記入しておくこと。	1 通	
11	芸術作品（芸術分野の実技専攻者のみ） 演奏、制作作品、出演作品などの CD-ROM	1 セット	